

平成 26 年 3 月 1 日

関係各位

東京大学大学院工学系研究科社会基盤学専攻・建築学専攻・都市工学専攻教員の公募について

工学系研究科では、平成 26 年 4 月より「復興デザイン研究体」の社会連携講座を設立する予定で、このたび下記の要領で教員を公募いたします。つきましては、適任者の応募及び推薦について、よろしくお取り計らいくださるようお願いいたします。

記

1. 公募人員：年俸制助教 1 名
2. 研究教育分野：復興デザイン実践学（土木、建築、都市）

東京大学工学系研究科 社会基盤学専攻、建築学専攻、都市工学専攻の三専攻を中心に新領域創成科学研究科、生産技術研究所が連携し、東日本大震災の事後復興や南海トラフ等の今後切迫する大規模地震に対する事前復興を主要なテーマに、新たな社会デザインに向けた実践的研究と教育を行うために「復興デザイン研究体」を組織することを予定している。募集対象の教員は、復興デザインの実践研究分野において、国土・都市・地域デザインや次世代インフラ、地域経営戦略についての研究と教育を行う。また応募者は、他分野の研究者と連携して、防災・減災のトータルデザインについて防災都市計画研究の普及展開を行う。このため応募者は、学術的な意味でのデザイン研究のみならず、実践的な復興デザインに対して優れた素養を有していることが求められる。さらに応募者は、国内外において様々なレベルの復興デザインに貢献できる人材を育成するための学部・大学院における教育について、国内外のデザインスタジオ・演習などの教育プログラムの開発と運用の経験を有することが望ましい。
3. 採用予定時期：平成 26 年 6 月 1 日(着任可能な日より)
4. 応募資格：博士の学位を有する者（または同等のデザイン実績を有する者、海外での同等の学位を含む）
5. 任期：着任から平成 30 年 3 月迄の期間。本研究科の教員任期に関する内規に従う。詳細については、問い合わせ先に照会のこと。
6. 提出書類：(1) 履歴書、(2) 業績リスト、(3) 主要論文の別刷り 3 編程度（コピー可）、作品のポートフォリオ、(4) 研究・実務業績の概要と今後の研究・教育に関する抱負、(5) 応募者について参考意見をうかがえる方 2 名の氏名と連絡先と email アドレス
7. 応募締め切り：平成 26 年 3 月 27 日（木）午後 4 時必着
8. 問合せ先：東京大学大学院工学系研究科 社会基盤学専攻
羽藤英二（TEL/FAX：03-5841-1672、E-mail：hato@bin.t.u-tokyo.ac.jp）
9. 応募書類提出先：〒113-8656 東京都文京区本郷 7-3-1 東京大学大学院工学系研究科
建築学専攻 専攻長 塩原等